



エコドライブ 10 のすすめ

地球環境とお財布に優しいエコドライブ その2

2012/09/27

丸山晴美のエネ・エコライフ

丸山 晴美

消費生活アドバイザー

エコドライブについて、その道のプロの方々にお話を伺った第2回目。

(「[その1 エコドライブ 10 のすすめ](#)もご覧ください!)

実は、エコドライブにはいくつか勘違いされている方法があるとのこと、是非それも教えてください!

<お話を伺った方>

大野栄嗣さん 日本自動車工業会 運輸政策対応ワーキング主査

谷口実さん 日本自動車工業会 環境統括部長

佐々木玄さん 日本自動車工業会 環境統括部

[一般社団法人 日本自動車工業会 HP](#)

ではまず、この問題を解いてみてくださいと大野さんから出題されました。

まずはみなさんも一緒に考えてみましょう。AかB、正しいと思う方をチェックしてください。

- Q1. エンジンをかけたら、エンジンの水温が暖まるまでアイドリングで暖機する
- A エンジンが暖まる前にクルマを発進させると、クルマが壊れるかもしれないし、燃費も悪いから、数分間待ったほうが良い
- B エンジンをかけたらすぐに発進してもクルマは壊れないし、燃費も良くなるか待つ必要はない
- Q2. 交差点で信号待ちの時、手動でアイドリングストップ。これはエコドライブ?
- A 交差点でのアイドリングストップは、燃費が良くなるので実施した方が良い
- B 交差点での手動アイドリングストップは危険。エアバッグが働かず、ブレーキの効きが悪くなる可能性も
- Q3. クルマのエアコンも、家電のエアコンも同じだから、あまり設定温度を下げないことが一番賢いエコドライブになる?
- A その通り。燃費のためには、夏も冬も我慢が大事。服装で温度調節する
- B クルマのエアコンは、家電のエアコンと構造が少し違うので、使わない時はA/Cスイッチを

OFF にします

答えは全て B です。

みなさんはいくつできましたか？

一問ずつ解説していただきました。

Q1 は暖機運転の問題ですが、確かに暖機したほうが走行時の燃費は良くなりますが、暖機中に燃料を消費してしまい、トータルで見ると暖機運転をすると燃料の消費量が多くなってしまいます。

ここでふと疑問が生じたので質問をしてみました。

雪国の人はよく暖機運転をしていると思うのですが、寒い地域でも暖機運転はしない方が良いのですか？

それは多分、クルマのガラスの曇りを取っているのでしょう。基本的にはすぐに運転しても問題ありません。ただし、**-20℃以下のような極低温環境下では、オイルを循環させるために、数十秒の暖機をおすすめします。また、1 カ月以上クルマを使わなかった人も同様に数十秒の暖機をおすすめします。**

なるほど、エンジンを暖めないでエンジンが傷むということはないのですね。でも、クルマに対してはちょっと可哀想かな？って思ってしまう私は典型的な文系人間だと思いました。

Q2 はアイドリングストップの問題ですが、信号待ちの間手動でアイドリングストップをすると、エアバッグ等の安全装置が機能しなかったり、ブレーキが効きにくくなったり、誤操作や発進遅れの原因となり、万が一の際に非常に危険です。また、バッテリー上がりによりエンジンが再始動しない場合もあります。

信号待ちで、アイドリングストップをしていざエンジンをかけたら、バッテリーが上がって、**それが元で交通渋滞や、最悪の場合事故を引き起こしたら…**と思うと…。とても怖いですね。

でも、ここでふと思い浮かんだのが、路線バスのアイドリングストップ。確か、路線バスも交差点ではエンジンを止めていたような？そこで質問をしてみると。

それは、バスの運転手さんはプロドライバーですし、自動でアイドリングをストップしてくれる装置が付いている車両もあるからではないでしょうか。

結論としましては、交差点での手動アイドリングストップは危険ですが、駐車場などの安全な場所では、アイドリングストップをお願いしたいと思います。

Q3 はクルマのエアコン使用方法の問題ですが、実はクルマのエアコンはご家庭にあるエアコンとは少し仕組みが違っているので、冷房時 28℃、暖房時 20℃といった温度設定にはほとんど意味がないのです。

と、なると、暑い夏も、寒い冬もあの青と赤の境目に無理してつまみを合わせる必要がないということでしょう

うか。

はい、それはあまり意味がありませんね。なぜなら、冷房時は除湿をして一気に車内の空気を冷やしてそれを排出するので、28℃であろうが 26℃設定であろうが、それほど使っているエネルギーは変わらないのです。更に暖房に関しても、クルマのエンジンの排熱を再利用しているので、使わなければそのまま捨ててしまうものです。ですから、寒いなら好きなだけ暖かくして下さって構いません。

そっそうだったのですね…。私のように、家庭のエアコンの使い方と同じように考えている人も多いはず。でも、調子に乗って車内を温めすぎると眠ってしまうのは私だけでしょうか。ほどほどにコントロールしたいと思います。

但し、ここは少し間違えやすいのですが、送風のファンは抑えめにしてくださいね。ファンを強くすればするほど、エネルギーが必要になってしまいますから。

そして更にもう一つカーエアコンの使い方アドバイスをするなら、「A/C」(オートエアコン)のスイッチを付けっぱなしの方が時々いらっしゃいます。秋や春など、エアコンを使う必要の無い時は意識的に「A/C」スイッチを OFF にすれば、無駄なエネルギーを使わずに済みます。



これぞまさに目からウロコのエコドライブ！次回は「エコドライブのメリット」です。